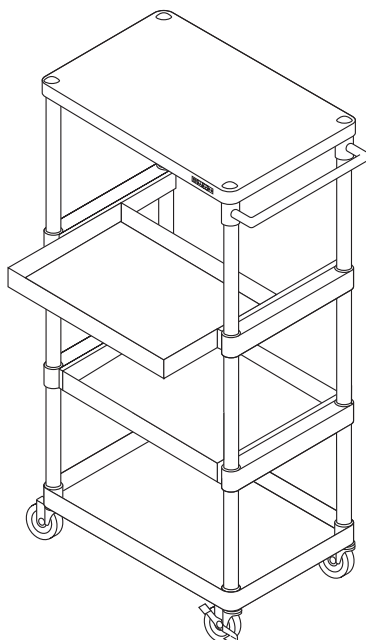


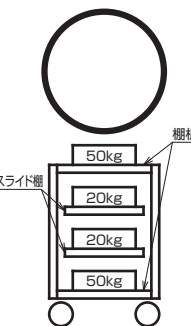
CSパールワゴン スライド棚タイプ

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださいますことありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方（使用上の注意事項）と組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存してください。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客さま相談室までご連絡ください。

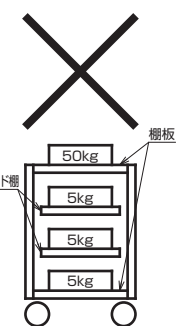


【ご使用前に必ずお読み下さい】
■均等耐荷重（等分布耐荷重）
下記イラストはワゴンの均等耐荷重が1台当り140kg、スライド棚の均等耐荷重が1段当り20kgの場合（お買い上げの商品によって耐荷重、引出しの枚数が異なりますのでご注意ください）



スライド棚 50kg 棚板 20kg 20kg 50kg

スライド棚1段当りの均等耐荷重20kgを段数分載せた上で、残りのツールワゴン1台当りの均等耐荷重範囲内で各段均等にお載せ下さい。
(例)上記ワゴンの場合
「均等耐荷重:140kg」-「スライド棚2段分:40kg」=100kg
100kg÷棚板2枚=50kg
棚板1枚当り50kgを上原に各段均等にお載せ下さい。



スライド棚 50kg 棚板 5kg 5kg 5kg

均等耐荷重内であってもかたよった積載をしますと転倒の恐れがありますのでおやめください。



大阪市城東区成育5丁目22—9

フリーダイヤル
お客様相談室 0120—575101

No.2083 24D-1

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

- 製品の等分布耐荷重（全体に均等に物を置いた場合）は、
140kg
スライド棚の等分布耐荷重(引出し全面に均等に物を置いた場合)は、
20kg／段〔※安全荷重は5kg〕
積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。
それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
スライド棚は引き出した状態で大きな衝撃を加えないで下さい。
重量物は注意して置いて下さい。
スライド棚、レールの破損や事故の原因となります。
安全荷重について…無負荷の状態で引出し等可動部を1段最大に引き出し、その前端に集中荷重を掛けた際、転倒をしない重さの合計をあらわします。(通常は均等に荷重をおかけください。)
- 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落の原因になります。
- 使用中に棚板のガタツキが生じたときは、（組立て方にしたがって）樹脂ハンマー等で固定しなおして下さい。
又、取手などのゆるみが生じたときは、ネジを締め直して下さい。
- 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
- スライド棚・引出しに物を載せたまま2つ以上引き出さないで下さい。またスライド棚・引出しの上に物を載せて引き出さないで下さい。バランスを失って、ワゴンが転倒する恐れがあります。
安全荷重を設けていますが、安全に関わらず使用時は必ず均等に荷重をおかけ下さい。
- スライド棚はゆっくりと引いて下さい。引出しを強く引きますとストッパー破損の原因になり、抜け落ちる恐れがあります。また転倒の恐れもありますので絶対におやめ下さい。
- スライド棚を引き出したまま上から強く押さえたり、重い物を置いたり、踏台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
- 偏った収納はしないで下さい。
- 床面ジュタン、悪路、段差の有る所では使用しないで下さい。
つまづき、キャスターの破損、転倒の恐れがあります。
- 転倒防止のため、重い物は下段に入れて置いて下さい。
- 可動部（キャスター、引出しなど）の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。

- この製品を固定するときは、必ずキャスターのストッパーをロックして下さい。
- この製品を移動するときは、キャスターのストッパーを解除して長辺方向に行ってください。短辺方向に行いますと転倒の恐れがあります。ただし、床に段差のあるところ、傾斜のあるところを移動するときは、落下や転倒の恐れがありますので注意して下さい。
- スライド棚の引き出しを出した状態で移動しないで下さい。転倒や破損の原因となります。
- この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

- この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障やサビの原因となりますので使用しないで下さい。
- 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
- 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
- 製品を水に濡れたままにしておきますとサビの原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
- 消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部などに、異音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
- キャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
- 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
- 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。

汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

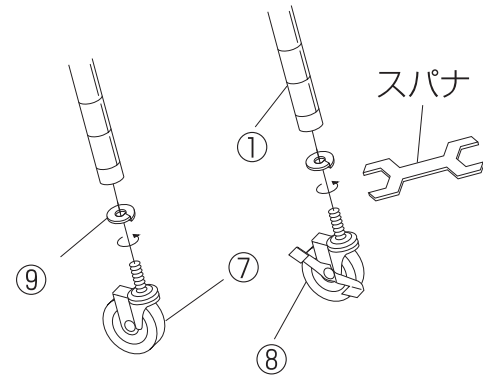
- 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
- 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
- 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返して行って下さい。

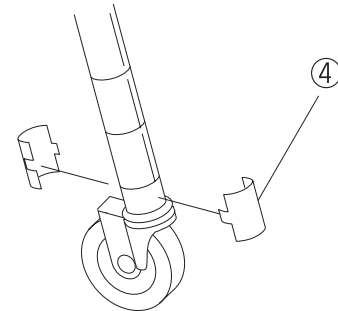
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

組立方法

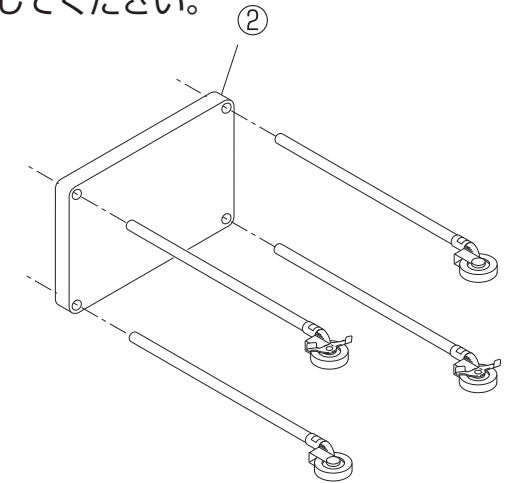
- ①支柱①にキャスター⑦⑧、スプリングワッシャー⑨をそれぞれはずれないように取り付けて下さい。



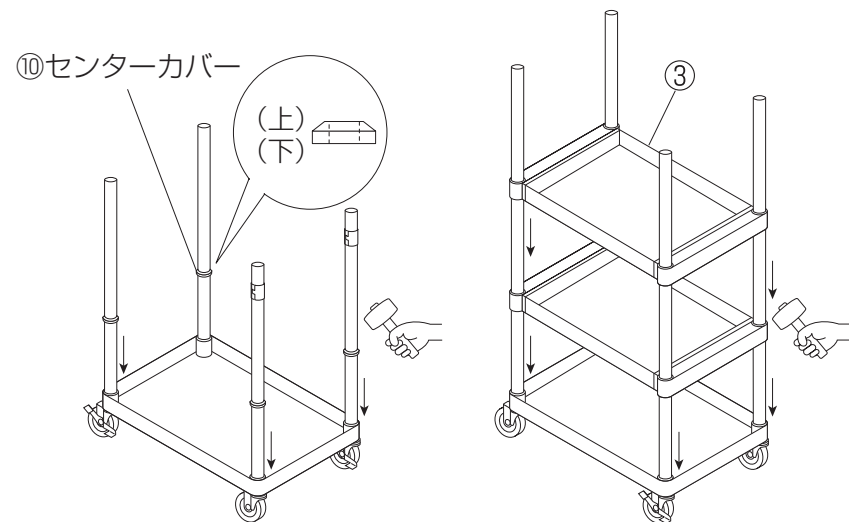
- ②支柱①の最下部の溝に、ブッシュ④を図2のように合わせて、はずれないように取り付けて下さい。



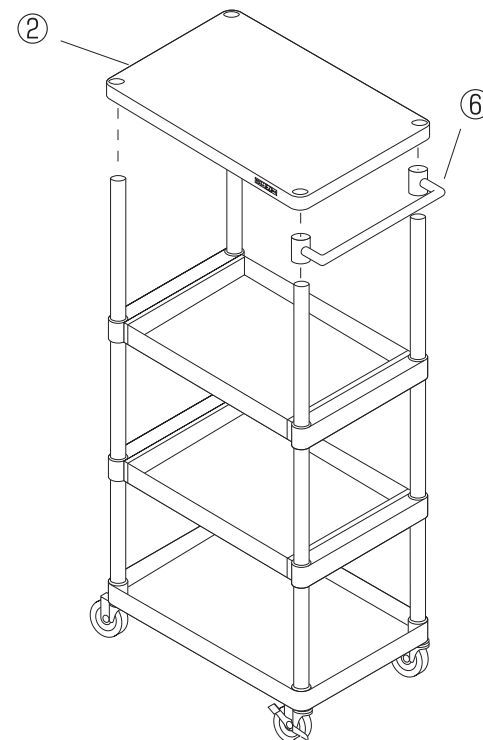
- ③棚板②（サカエシールが付いていない方）を横に立て、棚板の四隅のパイプに支柱をそれぞれ差し込んで下さい。
※このとき、ストッパー付のキャスターが対角になるように設置してください。



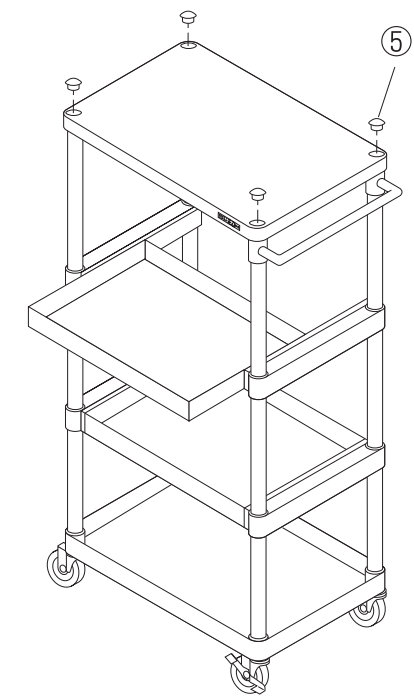
- ④本体を起こし、棚板②を樹脂ハンマー又は木槌で軽くたたき込んで下さい。
その後センターカバーの(上・下)向きを確認してから支柱にはめ込み落とし込んで下さい。
次に任意の位置にブッシュ④をセットし、スライド棚③をセットし樹脂ハンマー又は木槌で軽くたたき込んで下さい。最上段の棚板以外は棚板各セット毎にセンターカバーを支柱に落とし込みます。
※スライド棚は皿型でしかセットできません。



- ⑤最上段の棚板を取り付ける前にブッシュを任意の位置に取り付け、取手⑥をセットします。そして、最上段の棚板②（サカエシールが付いている方）セットしたのち樹脂ハンマー又は木槌で軽くたたき込んで下さい。



- ⑥天キャップ⑤を樹脂ハンマー又は木槌で支柱①に軽くたたき込み、はずれないように取り付けて下さい。



部品明細

番 号	品 名	数 量	番 号	品 名	数 量
①	支柱	4	⑥	取手	1
②	棚板（うち1枚はサカエシール貼付）	2	⑦	キャスター（ストッパーなし）	2
③	スライド棚	2	⑧	キャスター（ストッパー付）	2
④	ブッシュ	18組	⑨	スプリングワッシャー（M12）	4
⑤	天キャップ	4	⑩	センターカバー	12